

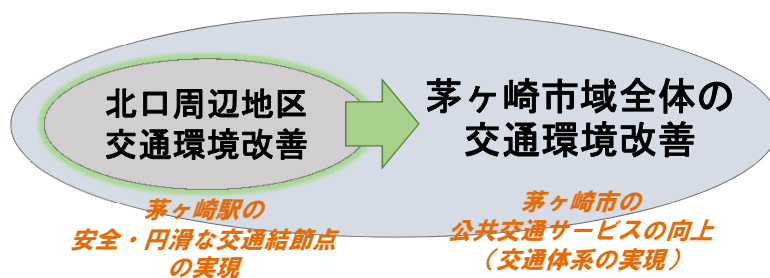
資料-5

茅ヶ崎駅北口周辺地区の交通環境の改善について

1. 検討経緯

(1) 交通環境改善の取り組みの考え方

- 交通が集中する茅ヶ崎駅北口周辺は、路線バスの定時性・速達性に支障を来している。
- 茅ヶ崎市域全体の交通体系をより良いものとし、利便性の高い交通環境を構築していくために、茅ヶ崎市の最大の交通結節点である茅ヶ崎駅北口周辺地区の交通環境の改善を図り、中心部での運行さらには郊外への運行といった市域全体の交通サービスの改善を図ることが必要である。



(2) 過年度の各種調査結果

● 駅北口周辺の実態把握として各交通手段ごとに調査を実施。

交通手段	調査内容	対象道路	結果
駅 周 辺	自動車 交差点流入交通量	国道1号	茅ヶ崎駅前交差点の交通量は、国道1号と駅前通りがほぼ同程度となっている。
	自動車 信号現示	国道1号	信号現示をみると、国道1号が主交通と設定されているため、駅前通りの青時間が短く、駅前交差点から流出する交通を処理する能力が低い。
	バス 1日の交差点運行本数	国道1号 中央通り	茅ヶ崎駅を発着するバス路線は、平日1日約630本(片道)ものバスが走行している。半数は湘南ライフタウン・辻堂方面に向かう。
	自転車 流入交通量	国道1号 中央通り 一里塚通り	国道1号を横断する自転車は、駅前通りよりも一里塚通りが多く、これらの自転車は、駅に近い駐輪場に向かっているものと考えられる。 一里塚通りは、信号が無いため、自転車が錯綜している。
	歩行者 流入交通量	国道1号	歩行者は、駅前通りが交通量が多く、駅や駅周辺の施設が目的地と推察される。駅前通りから外れると、歩行空間が十分でなく、信号が無いため、自動車や自転車との錯綜が生じている。
駅 前 広 場	自動車 バス タクシー 自転車 歩行者 現地目視確認	駅前広場	駅前広場は、平日1日1200本以上ものバスが発着する中、タクシーや一般車両、自転車、歩行者との動線が交錯し、広場内が混雑している。 ①路上駐車による狭隘化、②混雑する駅ビル駐車場入り、③バス・タクシー・乗用車が錯綜、④続々と進入するバス、⑤自転車や歩行者が錯綜、⑥満車に近いタクシープール

2

(3) 駅周辺の課題と今後の検討の考え方(平成25年度)

駅北口周辺の課題

- バス利用の利便性向上から見た課題
 - ・茅ヶ崎駅前交差点がボトルネック
 - ・駅前広場も混雑
- 歩行者・自転車から見た課題
 - ・安全、安心な空間の確保

今後の検討の考え方

- ・現在の道路網を前提(新たな拡幅等は見込まない)
- ・駅周辺の交通の円滑化を図り、アクセス性の向上を図る取組みを検討
- ・特に、バス交通の利便性向上、歩行者・自転車の安全安心な空間の確保を優先的に取り組むべき課題として、これらへの対応を重点的に検討

<検討施策例>

- ①バス路線の駅アクセスルートの再構築
- ②自転車走行空間の検討
- ③駅前広場内の機能の再配置

3

2. バス路線の駅アクセスルートの再構築

(1) 課題と対策(案)

●ルート再構築の課題

- 茅ヶ崎駅を発車するバス路線は、平日1日約630本(片道)ものバスが駅前通りに集中し、バスの定時性・速達性に影響。

●ルート再構築に向けた対策(案)

①アクセスルートの再構築

「一里塚通り」などにバスルートを分散し混雑緩和。

②交通規制の時間延長

駅前通りにおける、7:00～8:30まで一般車両の流入規制の時間を延長。

■信号現示

	単位:秒
	青時間 (右折専用)
駅前交差点	国道1号側 93(7) 県道45・309号側 47(12)
一里塚交差点	国道1号側 102 市道側 35(7)



(2) 効果検証の必要性和事業評価

●対策効果検証の必要性

- 再構築ルートにどの程度のバスを通すことが最も効果的なのか検証必要。

→国道1号の信号現示も改善しないとあまり効果がでない可能性も考えられる。

- 対策による一般車両や歩行者・自転車など駅周辺全体における影響や新たに発生する課題の整理も必要。

→各対策効果をシミュレーション等で検証し、どの対策が望ましいか評価必要(事業評価)。

●事業評価

シミュレーションにより事業評価するためには、交通状況の詳細調査(現況再現)が必要。

- 交通量

- 渋滞区間(車線別)、時間帯、混雑程度(通過時間)、渋滞要因(信号現示 等)

→事業評価実施に向けては時間と調査費がかかり、簡易な実施方法を含め現在検討中。

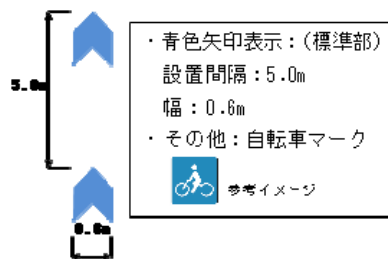
3. 自転車走行区間の検討 ―自転車走行区間の整備計画―

●整備箇所

- ・国道1号新栄町交差点～エメロード（JA農協ビル前道路）
- ・約200m

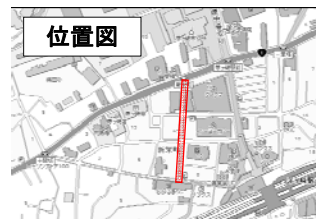
●整備内容

- ・自転車走行区間の路面標示



●整備時期

- ・平成26年11月～翌年1月頃予定



6